

A. 日 時 2017年2月28日火曜日 17時30分～19時30分

B. 場 所 本会会議室

C. 出席者 松本主査 他13名

D. 提出資料 【提出委員名も記入して下さい】

No. 15-01 : 15\_01\_第14回環境振動性能評価小委員会\_議事録案\_01

No. 15-02 : 鋼構造建築物における床振動環境改善技術の開発およびその設計手法の構築

No. 15-03 : 説明性 WT

E. 審議事項

1. 議事録確認

資料 15-01 「第14回環境振動性能評価小委員会 議事録（案）」について報告

A) 前回委員会議事録内容の確認

→ 承認された

2. 次年度以降の当小委員会について

A) 新体制について松本主査より報告

※ 次年度以降の当小委員会について

→ 新設の小委員会主査は鈴木委員とする

3. 議論

A) 資料 No. 15-02 「鋼構造建築物における床振動環境改善技術の開発およびその設計手法の構築」に関して発表

※ 同氏の学位論文を紹介

→ 膜型圧電セラミックスを用いた床振動制振技術

→ 既存の床振動対策技術ならびに事後対策後の振動に対する評価について

→ 質問ならびに新たな提案等も含め非常に活発な意見交換がなされた

---

B) 資料 No. 15-03 「説明性 WT」 に関して報告

※ 説明性 WT 活動報告

- 2月23日に行われたワーキングの結果を報告
- 振動を表現する語彙よりイメージされる振動を「振動数」「大きさ/知覚の確率（鉛直/水平）」ごとに分類/マッピング
- 振動表現の語彙と絵を用いて建物居住者/使用者への想定される振動の説明表現，ならびに振動の聞き取り調査資料としての活用を目指したい
- 「大きさ」, 「振動数」の分類方法について意見交換があり，WTで見直すこととなった
- 実験等をしないと，感覚と振動数や大きさとの対応がわからずマッピングはできない，との意見もあり，今後の検討課題となった

4. 次回以降の課題

- ※ 「居住性能評価指針」と「設計指針」の位置づけについて，評価指針への提言
- ※ 評価WGでの活動内容の報告
- ※ 水平振動と鉛直振動を分けて考えているが，コンバイン効果等はあるのか
- ※ 環境振動の見える化
- ※ 北方建築総合研究所での振動感覚実験の結果について
- ※ 環境振動に関するホットな話題を随時募集

---

次回の小委員会は，2017年5月17日（水）17時半より行われます。ご参加よろしくお願ひいたします。また，次回小委員会において資料を提出される方は，あらかじめ準備(14部)されるか，もしくは2日前までに当小委員会のオンラインストレージまでアップロードお願ひいたします。